

# 数理・データサイエンス・AI教育プログラム認定制度（リテラシーレベル）

## プログラムの開講目的

政府の「AI 戦略 2019」において、文理を問わず全ての大学・高専生（約50万人卒／年）が初級レベルの数理・データサイエンス・AIを修得するという具体目標が設定されました。また、文部科学省においても、2025年度までに、全ての大学生等が「数理・データサイエンス・AI」を履修できる環境を整備することを各大学に通知すると共に、優れた教育プログラムを開講する大学に「数理・データサイエンス・AI教育プログラム」を認定する制度を立ち上げました。

本学においても、「数理・データサイエンス・AI」を修得する環境を整備するとともに、「数理・データサイエンス・AIプログラム（リテラシーレベル）」の認定を目指し、同朋大学、名古屋音楽大学の共同開設プログラムを立ち上げることにいたしました。また、本プログラムは文部科学省「数理・データサイエンス・AI教育プログラム認定制度（リテラシーレベル）」の2023年度認定に向けた申請を予定しています。

[数理・データサイエンス・AI教育プログラム認定制度（リテラシーレベル）](#) ※文部科学省 HP

## 身に着けることができる能力

情報端末やインターネットの存在が社会に及ぼす影響について考察し、インターネット上の様々な情報に対する倫理観の重要性について認識することができる。

データを適切に読解・利用するための基礎的な数理的思考を身に付けることができる。

データ・AIの活用技術と活用事例を説明し、データサイエンティストの特徴が認識できる。

データ・AIを活用する上で求められる倫理を理解し、データ駆動型社会におけるリスクや課題について考察することができる。

様々なデータを適切に収集・加工・処理するための基本技術を身に付け、データを効果的に表現することができる。

データの可視化と分析により統計的な解釈ができる。

## 修了要件

下記の授業科目をすべて修得した学生に対し、数理・データサイエンス・AI教育プログラム（リテラシーレベル）の修了者とします。

## 開設される授業科目

名古屋音楽大学で開講される「数理・データサイエンス・AI入門」、同朋大学で開講される「情報社会」、2科目でリテラシーレベルのモデルカリキュラムの学修内容をカバーし、当該教育プログラムを構成しています。

No.	科目名称	開設校	備考
1	数理・データサイエンス・AI入門	名古屋音楽大学	春学期開講
2	情報社会	同朋大学	単位互換制度に基づく特別聴講生として受講※

※「情報社会」は「自由科目」として単位認定され、卒業単位に含まれます。

## 証明書について

プログラムを修了した学生には、修了証明書が発行されます。

## モデルカリキュラム（リテラシーレベル）と授業科目との対応表

学修項目		授業科目
導入	1. 社会におけるデータ・A I 活用	
	1-1. 社会で起きている変化	情報社会／数理・データサイエンス・AI 入門
	1-2. 社会で活用されているデータ	情報社会／数理・データサイエンス・AI 入門
	1-3. データ・A I の活用領域	情報社会／数理・データサイエンス・AI 入門
	1-4. データ・A I 活用のための技術	数理・データサイエンス・AI 入門
	1-5. データ・A I 活用の現場	情報社会／数理・データサイエンス・AI 入門
	1-6. データ・A I 活用の最新動向	数理・データサイエンス・AI 入門
基礎	2. データリテラシー	
	2-1. データを読む	情報社会／数理・データサイエンス・AI 入門
	2-2. データを説明する	情報社会／数理・データサイエンス・AI 入門
	2-3. データを扱う	情報社会／数理・データサイエンス・AI 入門
心得	3. データ・A I 利活用における留意事項	
	3-1. データ・A I を扱う上での留意事項	情報社会／数理・データサイエンス・AI 入門
	3-2. データを守る上での留意事項	数理・データサイエンス・AI 入門

### 授業の方法及び内容

[数理・DS・AI 入門シラバス](#)

[情報社会 シラバス](#)

### 実施体制

名古屋音楽大学ファカルティ・ディベロップメント委員会がプログラムの運営・改善、および、自己点検・評価を担当する。なお、自己点検は、該当科目の授業評価アンケート、当該教育プログラム独自の授業理解度アンケート等の情報をもって実施する。